

海外安全対策情報（平成28年度第2四半期：コロンビア）

1 社会・治安情勢

(1) 政府とFARC（コロンビア革命軍）の和平交渉を巡る動き

8月24日、キューバのハバナにおいて、コロンビア政府とFARCとの和平最終合意がなされ、式典が開催された。25日、サントス大統領は国軍最高司令官として、FARCとの双方向停戦を8月29日の午前0時より開始するよう命令を下した。10月2日の国民投票で和平合意が否決されたため、和平合意案内容を再交渉中であるが、双方向停戦は12月31日までとなっている。

(2) ELN（国民解放軍）による暴力的ストライキ

9月12日から15日まで、アラウカ県において、ELNによる同組織ドミンゴ・ライン戦線の創立36年を記念する暴力的ストライキが実施された。同期間、アラウカ県では、4カ所の道路が封鎖されたほか、警察署2カ所が襲撃された。また、8月下旬から9月中旬にかけて、アラウカ県において、ELNによる軍施設等への攻撃が相次いで発生した。

(3) 農民連合と運送業者によるスト

5月末に始まった民族と人民の為の農民連合（La Cumbre Agraria Campesina Etnica y Popular）が行ったストライキに、6月5日から運送業者が加わり、全国的なストライキが行われていたが、7月22日、運送業者・政府間にて合意が達成され、45日間に及ぶストが終了した。ストは農村部だけでなく、ボゴタ市内や近郊、大都市間を結ぶ主要道路にも及び、道路封鎖やトラックへの放火事案等が相次いだ。国防省の発表によると、110カ所の道路封鎖が企図され、警察の機動隊とデモ隊の衝突により、市民1名が死亡、警察官39人が負傷した。

(4) ベネズエラの国境封鎖を巡る動向

7月5日、約500人の主婦が、ベネズエラにより閉鎖中のコロンビアとの国境を越え、ベネズエラからコロンビアのククタ市に向かい、食料の買い出し等をしたが、両国の当局ともに制止しなかった。10日、国境の一部が12時間に亘り一時的に再開され、約3万5千人がベネズエラからコロンビア側に生活必需品等の買い出しに来た。16～17日、再度国境が一時的に再開され、約12万人がベネズエラ側からコロンビア側に入国した。

8月10日、日中における両国国境の歩行者の往来が認められ、13日、トラックの往来が開始、25日以降、その他の車両の通行も開始された。

2 一般犯罪の傾向

(1) 犯罪別発生件数

第2四半期（7月～9月）のコロンビア全国における罪種別犯罪発生件数は以下のとおり（出典：コロンビア国防省統計）。

・殺人 2,944件

・強窃盗（対人被害）	26,640件
・強窃盗（邸宅，商業施設被害）	9,448件
・強窃盗（乗物被害）	9,247件
・性犯罪	2,010件

（2）邦人被害事案

- 9月4日，ボゴタ市内において，長期在留邦人が友人夫妻と3人で，ボゴタ市中心部（セントロ地区）を散歩していたところ，閉めていたはずのリュックサックのファスナーが開けられ，中から貴重品が入ったバックが盗まれた。
- 9月6日，ボゴタ市内において，長期在留邦人が満員のバスに乗車中，ズボンのポケットにしまっていたカード入れが窃取されるスリ被害に遭った。
- 9月27日，ボゴタ市内において，出張者が同僚とカフェテリアで飲食後，異なるテーブルでまとめて会計をした同僚に支払いを行うため，一旦席をたち，支払いを終え自席に戻ったところ，足下に置いていたビジネスバッグが窃取されていた。

3 テロ・爆弾事件発生状況

（1）発生件数（7月～9月）（出典：コロンビア国防省統計）

47件

（2）発生事案

国内において，以下のテロ・爆弾事案が発生した。

- 7月3日，ビチャダ県プエルト・カレーニョ市郊外のベネズエラとの国境付近において，ELNによるとみられる海軍への襲撃事件が発生，兵士2人が死亡，1名が行方不明となったほか，アンティオキア県アノリ市とカンパメント市の間にある国軍施設へELNによるとみられる襲撃事件が発生，兵士1名が死亡した。
- 7月6日，アラウカ県アラウキータ市において，ELNによるとみられる海軍施設に対する爆弾事件が発生，兵士2名が負傷した。
- 7月9日，カウカ県エル・タンボ市において国軍兵士がELNとみられるゲリラに襲撃され国軍兵士1名が死亡した。
- 7月15日，セサル県南部のペラジャ市中心部の広場において，警戒中の警察官に対するELNによるとみられる爆弾事件が発生，警察官1名が死亡したほか，市民3人が負傷した。
- 7月24日，ノルテ・デ・サントアンデール県アカリ市において，ELNによって仕掛けられた爆発物が国軍によって解体された。
- 7月30日，ノルテ・デ・サントアンデール県ティブ市において，ELNによるとみられる国軍ヘリポートに対する小規模な爆弾事件が発生し

たが、負傷者はなかった。

- 8月5日、サンタンドール県スラタ市の公道において、警戒中の国軍を狙う目的で設置されたとみられる3つの爆発物が発見され、国軍により解体された。
- 8月10日、グアビアレ県エル・レトルノ市の教育センター付近において、FARCの中でも政府との和平交渉に反対する第一戦線によってバイクに仕掛けられた爆弾が爆発し、警察官2名と市民3人（うち1名は未成年）が負傷した。
- 8月23日、ボゴタ市内で保険会社（EPS）事務所に対する3件の爆弾事件が発生したが、人的被害はなかった。
- 8月30日、アラウカ県アラウカ市において、ELNによって交番が襲撃されたほか、同県タメ市の交番での小規模な爆弾事件が発生、警察官1名が負傷した。
- 8月31日、ボゴタ市内において、金融機関を狙ったとみられる2件の小規模な爆弾事件が発生したが、人的被害はなかった。
- 9月2日、ノルテ・デ・サンタンドール県カタトゥンボ地区ティブ市の石油パイプラインがELNによるとみられる攻撃を受けた。
- 9月9日、アラウカ県サラベナ市において、ELNによるとみられる交番に対する小規模な爆弾事件により、市民1名が負傷した。
- 9月12日、アラウカ県とカサナレ県において、ELNによる暴力的ストライキにより、バスやバイクが複数放火され、複数の道路が通行不能となった。
- 9月16日、バジェ・デル・カウカ県カルタゴ市の穀物市場において、ELNによるとみられる小規模の爆弾事件が発生したが、負傷者はなかった。

4 誘拐・恐喝事件発生状況

(1) 発生件数（7月～9月）（出典：コロンビア国防省統計）

ア 誘拐	41件
イ 恐喝	306件

(2) 発生事案

本期間中、外国人の誘拐被害の報道発表はなかった。

5 日本企業の安全に関する諸問題

政府の継続した治安対策により、ボゴタを始めとする都市部ではテロ、殺人及び誘拐の発生は減少し、都市部での治安状況は過去と比べ著しく改善された。

しかし、昨年7月、ボゴタ市内で連続爆弾テロが発生したほか、昨年12月以降もボゴタ市内で連続爆弾テロが発生するなど、未だ警戒を怠ることはでき

ない。また、昨年5月22日から7月20日までのFARCが一方的停戦を破棄していた期間は、山間部やジャングル地帯を中心に治安機関及び石油・電力施設を狙ったテロが頻発した。これら地域は、国軍・警察の影響力も低く、現在もテロが発生しており、人的・物的被害が絶えない。

2016年8月24日に、政府とFARCは和平最終合意を達成したが、10月2日の国民投票で否決されたため、和平合意内容を再交渉中である。和平が達成されたとしても、社会復帰が出来なかったゲリラが一般犯罪に手を染めるなどの不安要素も存在する。

従って、特に地方への訪問については、その可否を決定する上でも、外務省、大使館、現地治安当局より最新の治安情報を入手するよう努めていただきたい。